

# 地質ニュース

昭和47年2月

第210号

1972

解説	わが国の海外石油開発の現状(その2)..... 福田 理...1
トピックス	海底地質調査用探層機の簡易装備法について..... 佐藤 孫七...18
	地下資源の発見と開発(その1)..... 郷原 範造...26
	南極大陸の歴史を探る〜 Gondwana大陸〜..... 木崎 甲子郎...34
講座	高温・高圧のはなし①..... 針谷 宥...43
資料	タイ国鉱産資源関係統計と開発状況概略..... 沢田 秀穂...48
	地質調査所所蔵の外国の地質図2(アフリカその2)..... 資料 室...58
	地学と切手..... P O...42

## 編集 地質調査所

### 表紙の写真

箱根火山の中で一番高いのが中央火口丘の神山。この神山の山腹に大涌谷 早雲山などの噴気地域がある。一般に大涌谷の噴気というのはバス停留所のすぐ下の谷に沿う広大な変質地域をいうが写真はその大涌谷の噴気 変質地域から約300m南西方向に離れた神山(写真左)直下の噴気孔群でバスで上って行くと右手に一目でみえる。昭和30年頃もう少し低いところで活動していたようであり付近一帯は大涌谷ほど変質していない。噴気地域にはしばしば噴気活動の移動現象がみられるがこの噴気地域も大涌谷の噴気活動が移動してここに出現したのではないかという自然のからくりを思わせる。雪が降った日は一段と水蒸気が空にたちこめそれがかえってさむぎむとした景色を誘う。かつてバス停の休み場から手動のケーブルでゆで卵を入れた籠を上げ下げしていたが今はもうみられない。ここからみる富士の眺めはまた格別美しい。

(文 中村久由 写真 正井義郎)

発行 株式会社 実業公報社